



# 研究の現場から

## 「道科研 事務室だより」を通じて、 道科研と全国のモラロジアンをつなぎたい

道徳科学研究所 事務長

楠伸次 くすのきしんじ

道徳科学研究所(以下「道科研」)では、毎月、定例研究会(以下「研究会」)を開催。年間の共通テーマに基づき、所内の研究者を中心に、それぞれの専門の視点から現代の倫理道徳問題などについて、研究発表を行っています。

しかし、平日午後の対面開催ということもあり、残念なことに参加者が限られていました。そのため、道科研事務室では、全国のモラロジアンと道科研をつなぐきっかけになればと、令和元年の十月より、希望者に向けて「道科研 事務室だより」

### 道科研 事務室だより No.28

【発信】道科研事務室 R4(2022)3.10

梅香漂う季節となりました。学園でも麗澤中高の卒業式が3月3日、麗澤大学の学位授与式が3月14日、麗澤幼稚園の卒園式が3月15日と卒業シーズン真っ盛りです。コロナ禍で十分な学生生活が送れなかった方も多いとは思いますが、たくましく乗り越えていただけることを願っております。

学園の梅の写真をお届けします。香りはお送りできませんがご覧いただければ幸いです。【写真】添付

### 道徳教育研究会

企画：道徳教育研究推進プロジェクト

【日時】3月16日(水) 13:00~15:00

オンラインZoom配信のみ

【共通テーマ】

道科研事務室だより

より」というメールマガジンで、研究に関する情報配信を開始しました。

そんな折、コロナウイルスの感染拡大防止のため、道科研でもオンラインで研究会や会議を開催することとなりました。そこで、オンライン開催となった「研究会」や「道徳科学研究フォーラム」の案内を中心に配信すると、研究会へのオンライン参加申し込みが、徐々に増えてきました。令和二年度はオンラインで公開した研究会(全十二回)に所員以外で、全国から延べ百六十五名、令和三年度は三百七十四名(全十四回)の参加がありました。

参加者から「このような機会をつくっていただき、ありがとうございます」「少し難しいですが、研究者の発表を視聴できて喜んでおります」「道科研がとても身近に感じられ、また貴重な学びに感謝しております」といった感想をいただくことも増え、研究会に多くのニーズがあることを感じていま

す。

現在、北は北海道、南は沖縄まで二百名以上の方に情報配信し、研究会の参加申し込みの方に視聴いただいています。また、質疑応答の時間には、疑問を投げかけて学びを深めることもできます。こうした双方の学びと研究の場がさらに広がることにより、「道科研事務室だより」が、道科研と全国のモラロジアンをつなぐ一助になればと願っております。

コロナ禍が明けた後も、月一回程度、研究会をハイブリッド(対面とオンライン)で開催し、関心のある方との学びの場を継続していく予定です。「道科研事務室だより」を配信希望される方は、左記の道科研メールアドレスに、「配信希望」と明記してお申し込みください。

### 【お申し込み先】

道徳科学研究所 事務室

Eメール rc@moralogy.jp